

2012年度

日本女性学習財団賞

レポート

募集

男女共同参画社会実現のために、社会・地域・家庭の中でさまざまな困難や課題を乗り越えてきた過程をふり返った実践・研究レポートを募集します。

レポートの内容は、社会教育・生涯学習活動、女性運動、NPOおよびNGO活動、地域活動、家庭生活、職業生活、震災経験や復興に向けた営みなど、はば広い領域を対象とします。

大賞 1 篇 (副賞 20 万円)

奨励賞 2 篇 (副賞 各 10 万円)

◆締切 2012 年 9 月 30 日 (日) 当日消印有効

書き方☆カフェ—あなたの“書きたい”、応援します！

日本女性学習財団賞選考委員が、審査の中で感じたこと考えたこと、伝えたいことをお話します。質疑応答の時間もあります。お気軽にご参加ください。



日 時: 6 月 8 日 (金) 午後 1 時 ~ 3 時

会 場: 日本女子会館 5F

(最寄駅 JR 浜松町、都営浅草線/都営大江戸線大門、都営三田線芝公園)

参加費: 無料 ※資料代として受賞レポート集代 1,000 円は別途いただきます。

講 師: 大島 英樹、辻智子 (日本女性学習財団賞選考委員)

定 員: 30 人

お申込み・お問い合わせは財団事務局まで。(要事前申込み)

※参加が選考に関係することは一切ありません。

※当日の内容は財団HPに掲載します。

公益財団法人

日本女性学習財団

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8

TEL/03-3434-7575 FAX/03-3434-8082

E-mail: jawe@nifty.com URL: <http://www.jawe2011.jp>

2012 年度 日本女性学習財団賞レポート募集について

応募資格

趣旨に関心をもつ個人およびグループ。
性別・国籍を問いません。

応募規定

- (1)未発表のものに限ります。
 - (2)日本語で書いてください。
 - (3)本文字数は、年表、図表、見出し、小見出しを含めて 12,000 字以上 20,000 字までとします。
パソコン(ワープロ): A4 用紙・横書き、40 字×30 行
手書き: 400 字詰原稿用紙
黒ボールペン等を使い、楷書で書いてください。
 - (4)本文と別に目次をつけてください。
 - (5)所定の応募用紙に必要事項を記入し(要旨 400 字を含む)、同封してください。
※応募用紙は財団に請求してください。
財団HPからのダウンロードもできます。
- 応募レポートは返却しません。必要があれば各自コピーをとってください。
- 受賞レポートの著作権は本財団に帰属します。
- レポートは公開を前提とし、個人情報の保護に十分配慮してください。

提出方法と提出先

郵送または E-mail 添付で公益財団法人日本女性学習財団
日本女性学習財団賞係まで。

※ファックスでは受け付けません。

※一週間以内に受領確認の連絡をします。
連絡がない場合はお問合せください。

選考基準

- (1)男女共同参画社会の実現に向けた実践や研究を自らの視点でまとめたものであること
- (2)男女平等に向けての視点やジェンダー問題の視点に立っていること
- (3)人権を守り育てる視点に立っていること
- (4)創造性、独自性があること
- (5)論理性、説得力があること
- (6)正確なデータに基づき、実証的であること
- (7)社会・歴史の中での位置づけ、あるいは国際的な課題との関係が総合的に考察されていること

選考委員

- 足立則夫 ジャーナリスト
大島英樹 立正大学法学部准教授
辻 智子 東海大学課程資格教育センター特任講師
平井和子 女性史研究者
大野 曜 公益財団法人日本女性学習財団理事長
(敬称略 ○委員長)

選考結果通知

2012 年 12 月末までに、郵送で応募者全員に通知します。
また、応募規定を満たし選考対象となったレポートには、
選考委員の講評(400 字程度)をつけます。

贈呈式と受賞レポート報告会

2013 年 2 月(予定)

2012 年度日本女性学習財団賞受賞レポート集

受賞レポートは冊子にまとめ、頒布します。

好評発売中!!

2011 年度「日本女性学習財団賞」受賞レポート集 - 学びがひらく -

受賞レポートとその講評、パネルフォーラム「学びがひらく」の記録を収録しています。
応募をお考えの方はもちろん、さまざまな立場で男女共同参画社会実現に取り組んでいる
方々の研修資料・学習教材としてご活用ください。

収録レポートと講評

【大賞】学びがひらく看護への道 山下知子(看護専門学校教員)

【奨励賞】日本の性暴力サバイバー支援の課題と今後 田中麻子(性暴力サバイバー支援団体代表)
戦争に負けた日本を生きてきた私 田中秀子(日本語ボランティア)

【選考委員特別賞】

異文化相互理解の道をアメリカで拓いた先駆者 武田陽子(女性史研究会会員)

男性の立場から男女共同参画社会実現のために 北村 亨(市川メンズ家事クラブ会員)

パネルフォーラム「学びがひらく」

講演「心をつかむ文章」

パネル・ディスカッション「学びがひらく」

